多可町立中町北小学校　学校だより

すずかけ

令和３年７月２１日
No.５（第 218 号）



文責及び発行責任者：校長

中町北小学校のホームページ更新中　「中町北小」で検索

１学期を終えて

長かった梅雨も明け、夏空が広がっています。子どもたちは、暑さにも負けず校庭で走り回り夏を楽しんでいます。

１学期も新型コロナウイルスの感染拡大のため、健康面に配慮しながら教育活動が制限される日々が続きました。学校行事の変更や中止をはじめ、大きな声で話したり、歌ったりできないこと、マスクを着用して過ごさなければならないことなど子どもたちには負担も大きい学校生活でした。その中でも、できることをしっかり積み重ね、学習や運動にがんばってきた子どもたちです。

また、大雨警報や突然の雷雨等、災害対応にも苦心しました。先日の引き渡しでは、新型コロナウイルス感染拡大のため訓練もできていない中、また、引き渡し方法の変更もあった中で、何とか無事に全児童を引き渡すことができました。これも保護者の方々のご協力のおかげです。今回のことを振り返り、新型コロナウイルス感染拡大防止、本校の狭い駐車場進入路、急な引き渡し時の連絡手段等の課題を解決し、さらに安全にスムーズに対応できるように検討していきます。

今日は、終業式です。子どもたちの成長を見つめ、みんなで喜び合える機会にしていただけたらと考えます。学習面や生活面、心のコントロールなどいろいろな面から、新たにできるようになったこと、前よりもできるようになったことを見つけ、言葉をかけてあげてください。小さな成長の積み重ねが次へのステップとなります。また、来週より始まる個別懇談会では、担任と子どもたちの様子について話し合っていただくことで、子どもたちのさらなる成長に向かってともに考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

夏休みは、子どもたちが様々なことを経験しチャレンジするとともに、自分で自分を律して過ごす機会となります。保護者の方々にとっては、たいへんなことも多いとは思いますが、子どもたちのために健康面の管理や学習への声かけ等ご協力をお願いします。２学期に元気いっぱい、笑顔いっぱいの子どもたちに会えることを楽しみにしています。

校長

【生活指導】

＜生活指導年間目標＞

さわやかあいさつ　あったかことば（いつでも・どこでも・だれにでも）

中北小の子どもたちは、とても素晴らしいあいさつができます。自然に、いつでも、誰とでも、大きな声であいさつができます。これは、長年の取組の積み重ねと家庭や地域と学校が協力してきた成果だと考えます。子どもたちの意識の中に、あいさつは大切なことであるという考えが定着しています。

一方、言葉づかいの面では、相手の人権を大切にしていないこともありました。そのため、相手があたたかい気持ちになるような言葉づかいをすることを目標にして取り組んでいます。特に相手との人間関係の意識が表れやすい名前の呼び方については、相手の名前を最後まで丁寧に「くん・さん・ちゃん」で呼ぶことにしています。例えば、「呼び捨てであっても、人間関係ができていればいいのではないか」という考え方もあります。確かにそのようなことも言えますが、小学生という発達段階や全校生で取り組むということを考慮して、中北小では、このようにしています。保護者の方々には、ご理解をしていただくとともに、子どもたちへの声かけをお願いします。

【運動会半日開催】

先日、配布したプリントでもご案内しましたとおり、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運動会を半日にして開催します。そのため、参加者も、児童、保護者、教職員に縮小させていただきます。日頃、地域の方々にはたいへんお世話になっているのですが、今年度の運動会は、地域の方々におきましては参加をご遠慮いただくようお願いします。申し訳ございません。

六年生：運動場に大仏をかきました。
修学旅行が楽しみです。

三年生：なか・やちよの森に川探検に行きました。
環境について学習しています。

紙面や学校の教育活動等についてのご意見、ご感想等をお寄せください。
なお、ご意見等は紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

学校だより「すずかけ」７月 21 日号　返信欄　キリトリ

【ご意見・ご感想欄】　※紙面への掲載が不可の場合は×をつけてください。（　　）